

第 483 回 N S T新潟総合テレビ番組審議会

1. 開催日時 2025年12月12日(金) 16:15～
2. 開催場所 N S T新潟総合テレビ本社
3. 委員出席
- 委員総数 8名
- 出席委員数 8名（レポート出席を含む）
- | | |
|------|------------|
| 委員長 | 伊藤 満敏 |
| 副委員長 | 本田 賢一 |
| 委員 | 山田 富美子 |
| 委員 | 廣田 徹 |
| 委員 | 杉浦 一成 |
| 委員 | 榎 大介（レポート） |
| 委員 | 吉田 謙佑 |
| 委員 | 岡井 美奈 |

（敬称略）

○放送事業者側

酒井 昌彦（代表取締役社長）

高島 裕介（取締役）

中馬 淳一（取締役）

品田 亮（番組説明・報道制作部）

武者 正人（番組審議会事務局）

4. 議 題

(1) 番組審議

「スマイルこれダネッ！

パンサー尾形が行く！新潟・長野撮れ高マックス旅！！」

2025 年 11 月 7 日(金) 19:00～20:00 放送 (60 分番組)

(2) その他

視聴者対応、訂正・取消放送の報告

配布資料

- ・議題・レポート取りまとめ
- ・BPO 報告 (NO. 283)

5. 議事概要

(1) 番組審議

番組審議では番組制作者による番組概要・企画意図等の説明文と動画を送付し、委員より事前に提出されたレポートを取り纏め、審議会ではポイントとなる意見をいただく形式をとった。

・アウトドア好きのファミリーとの共演のロケだったが、なぜイワナのつかみ取りをテーマに決めたのか？腑に落ちない感じもした。万人向けのテーマ選びの方が無難だったと思う。

・テーマを3つではなく2つぐらいに絞ったほうが良かったのではないかと。新潟と長野でそれぞれ3つのテーマを設定し、計6カ所を取り上げたため、1カ所当たりの内容が希薄になってしまい、見ていて中途半端な印象を受ける部分があった。

・アクティビティガイドの方について、奥さんやお子さんが登場してはいたものの東京から移住してきた部分についてもう少し掘り下げても良かったのではないかと考えた。週末のバラエティ番組なので、笑えるシーンを中心に考えるのは当然かもしれないが、移住の部分を掘り下げることで、人口減少問題を考える上でのヒントが出てくるかもしれないと思った。

・新潟はユニークな知られざるお宝を紹介したい、長野は来てみて体験して貰いたい、という意図が出ていたと思う。どちらも力のこもった互角の内容だった。またパンサー尾形さんは地域や出演者へのさりげない気遣いが感じられ、暖かい気持ちで番組を楽しむことができた。

・題名の「撮れ高」をしっかりと演出するために、リアクション大き目の芸人を起用したキャスティングでそれぞれのテーマごとにアピールしたい点が上手く表現できていたとともに、地元馴染みのある芸人やアナウンサーを起用し小気味よく面白く表現しようとする制作側の意図が感じられ楽しく拝見することができた。

・新潟の神業は鉛筆彫刻職人という普段あまり目にしない作品の地味な作業工程を小気味よいノリで楽しく演出しながら、制作の難しさやその作品のすばらしさを感じながら興味深く拝見することが出来た。
最後に QR コードも出ていたようだが、作品を目にできる場所や発注方法などもテロップなどで紹介しても良かったのではと思った。

・芸人の「体当たり感」の強いリアクションや自然体の会話が、視聴者に「自分も一緒に旅している」感覚を与えているようで、親近感を醸成しているように感じた。地元グルメを食べた時の「うまい！！」という素直な反応が印象的で、視聴していて食べたくなるような臨場感だった。一方で、辛さや量のインパクトが強すぎて、味についての紹介が少なかったように思った。

・旅の流れが明確で、視聴者が目的地を追いかけやすいと感じた。アクティビティや、地元の方とのふれあうシーンは、タイトルの通り「撮れ高マックス」だった。デカ盛り料理や施設、アクティビティの紹介もしっかりとしていながら、パンサー尾形氏のユーモアで笑える部分も多くあり純粋に番組を楽しむことができた。

・個人的に、大食い番組には下品な印象を持ってしまい苦手なのだが、シェアしながら食事を楽しむという内容は見ていて心地よく、とても良い企画だと感じた。背面に多くの漫画が映っていたので、メニューだけでなく「漫画を読みながら店内で過ごせます」といった雰囲気紹介が数秒入ると、さらに魅力が伝

わったかもしれない。また、お持ち帰りが可能である点も、フードロスの観点から素晴らしい取り組みだと感じた。

- ・松本市のアクティビティでは、イワナの塩焼きをはじめ、体験と食が一体となっており、非常に魅力的なスポットと感じた。柏崎市のカヤックも景色が美しく、エンディングに向けて気分が高まる構成は良かった。

- ・旨い というテーマに対して 食べきれない激辛を取り上げるのは無理があるし、体を張ったギャグを優先させるとこうなるのかとも思った

（２）その他

視聴者対応

資料に基づき、２０２５年１１月分の視聴者対応について、事務局より報告を行った。

訂正・取消放送の報告

前回開催日～今回の開催前日までに総務省に届け出た訂正放送・取消放送はなかった。